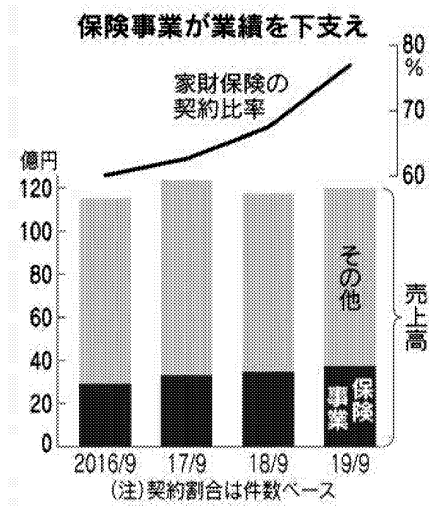


# JBR、大手に対抗

カギや水回りのトラブルなど、住宅関連サービスを提供するジャパンベストレスキューシステム（JBR）が、独自の少額短期保険（ミニ保険）商品を増やしている。急病などで結婚式をやむなくキャンセルしたり、インターネット取引をきっかけにトラブルが起きたりした場合に補償する。生活のニッチ（隙間）な需要を取り込み、新たな収益の柱に育てる。

JBRは弁護士費用を補償する痴漢冤罪保険を業界で初めて出すなど、他社に先駆けた商品展開が強みだ。2019年5月から販売を始めた結婚式キャンセル保険は親族が亡くなったたり、新郎新婦がインフルエンザなど特定の急病にかかったりしたケースを想定。万一、結婚式を開けなくなった場合に

## ニッチな補償 ミニ保険で



最大500万円を補償する。新郎新婦の個人的な都合は対象外となる。保険契約はJBRと結婚式場を運営する8社が結ぶ。傘下の式場は東京

最大500万円を補償する。新郎新婦の個人的な都合は対象外となる。保険契約はJBRと結婚式場を運営する8社が結ぶ。傘下の式場は東京

項目	少額短期保険	損害保険
参入	登録制	免許制
資本金	1000万円(供託金)	10億円
契約期間	2年以内	無制限
補償金額	1000万円以内	無制限

ネットが中古品などを個人が売買するフリマアプリに対応したのは「あんしん取引保険」だ。地域内の不要品売買サイト「ジモティー」の会員向けに19年7月から月340円で提供。例えば取引後に商品が壊れて、他人にけがを負わせたり、第三者の物を傷つけたりしたときの賠償を最大100万円まで補償する。

## 結婚式 取り消し料 ネット取引 トラブル対応

少額短期保険の市場は伸びている。業界団体の日本少額短期保険協会によると、19年3月末の加入数は831万件と3年前比で3割増加。JBRは保険事業の営業利益を同じ期間に7割伸ばした。直近は約3億6000万円と、連結営業利益の2割を占める。ただ、26万件あるJBRの保険契約総数のうち20万件が賃貸向け家財保険だ。チューリッヒ保険や住友生命保険など大手が少額短期保険に参入し競争は厳しいなか、利益の伸びしろは大きい。部門の売上高は直近で37億円。JBR傘下のジャパン少額短期保険（東京・千代田）の杉本尚士会長は「かゆいところに手が届く商品を増やし、売上高を年8%のペースで伸ばしていきたい」としている。（田崎陸）

少額短期保険の市場は伸びている。業界団体の日本少額短期保険協会によると、19年3月末の加入数は831万件と3年前比で3割増加。JBRは保険事業の営業利益を同じ期間に7割伸ばした。直近は約3億6000万円と、連結営業利益の2割を占める。ただ、26万件あるJBRの保険契約総数のうち20万件が賃貸向け家財保険だ。チューリッヒ保険や住友生命保険など大手が少額短期保険に参入し競争は厳しいなか、利益の伸びしろは大きい。部門の売上高は直近で37億円。JBR傘下のジャパン少額短期保険（東京・千代田）の杉本尚士会長は「かゆいところに手が届く商品を増やし、売上高を年8%のペースで伸ばしていきたい」としている。（田崎陸）